

SMBC グループライジング基金

2024 年度寄付先公募要項

公募期間： 2024 年 9 月 17 日(火) ~ 2024 年 11 月 15 日(金)15:00

1. 公募にあたり

SMBC グループは、2023 年度からの 3 年間を計画期間とする中期経営計画「Plan for Fullfilled Growth」を策定し、「環境」「DE&I・人権」「貧困・格差」「少子高齢化」「日本の再成長」の 5 点を、SMBC グループとして主体的に取り組むべき重点課題として決めました。

SMBC グループでは、事業を通じた社会への貢献に加え、「良き企業市民」としての社会的責任を果たすため、さまざまな社会貢献活動を行っています。その取組の一つとして、有志の役職員の給与から毎月光引きする積立募金「SMBC グループライジング基金」を運営しており、2021 年度より寄付先の一般公募を行っております。^{※1}

本年度の公募対象事業は、重点課題の1つである「貧困・格差」をテーマとし、貧困・格差の解消に資する取組とします。また 3 年コースをもうけることで、より中期的に事業を拡大する取組も支援します。SMBC グループライジング基金の寄付が、子どもたちの教育格差の解消や、挑戦の機会の提供、社会的な自立や貧困からの脱却の一助となり、世代を超える負の連鎖を断ち切る一歩となることを期待しています。

また、昨年度からは、従来の単年度支援に加えて、より大きな社会的インパクトを創出するため中長期で事業や組織の基盤強化に取り組む団体を支援する複数年での支援も行っております。

皆さまからのご応募を心よりお待ちしております。

^{※1}…2024 年 3 月現在、約 7,500 名が加入しており、2023 年度には約 1,700 万円の寄付を行いました。

2. 公募の枠組

寄付金を活かして既存事業の支援対象や支援内容をより効率的・効果的に広げ、社会的インパクトを最大化しうご提案に寄付を提供します。また 3 年コースではより中期的に事業を拡大するための基盤づくりをする団体を支援します。

昨年度からは、より大きな社会的インパクトにつなげるために、中長期で事業・組織の基盤強化に取り組むための柔軟な資金を提供する 3 年コースを設置しました。なお、今年度は(A)1 年コースと(B)3 年コースは併願可能としました。各コースの趣旨に沿った複数の取組がある場合は、それぞれご応募いただくことが可能です(ただし両コースで同時に採択されることはありません)。

また、3 年コースでは、3 年という期間を活かし、SMBC グループからのプロボノによるサポートも提供します。貧困・格差の連鎖解消に取り組むパートナーとして、セクターを越えた協働を推進できればと思います。

種別	(A)1 年コース	(B)3 年コース
対象となる事業	<p>貧困・格差の状態にある子どもやその家族を対象に、教育や挑戦の機会の提供を通して、貧困・格差の連鎖解消に取り組む事業を対象とします。</p> <p>※本公募において、「子ども」は、18 歳以下を想定しています。</p> <p>※海外で実施する事業も対象としますが、採択予定団体は(A)1 年コースの 1 団体の予定です。</p>	
1 団体あたりの寄付金額	最大 300 万円(1 年間)	<p>最大 1,000 万円(3 年間)</p> <p>※1 年あたりの予算額は最大 500 万円です。</p> <p>※取組内容に応じて寄付金を 2 年で全て費消しても結構です。最適な期間をご提案ください。</p>
採択予定団体数	4 団体(予定)	1 団体(予定)
期間	2025 年 4 月から 1 年間	<p>2025 年 4 月から 3 年間</p> <p>※1 年ごとに事業の振り返りを事務局と行います。見直しが必要な場合、双方合意の上で次年度の活動と予算を決定します。</p> <p>※寄付金を 2 年で全て費消した場合も寄付契約期間は 3 年間となります。報告義務等は 3 年目にも発生します。</p>
対象となる取組	<p>下記(1)(2)の両方を対象とします。</p> <p>(1)支援対象の直接的な増加</p>	<p>下記(2)のみ対象とします。</p> <p>(2)事業・組織基盤強化</p>

	<p>支援対象者への資金提供やサービス拡大を効率的・効果的に行う取組 ※「3.対象となる取組」①に該当</p> <p>(2)事業・組織基盤強化 既存事業の支援対象や支援内容を、より効率的・効果的に広げるための、事業・組織の課題解決や運営改善に関する取組 ※「3.対象となる取組」②～⑥に該当</p>	<p>既存事業の支援対象や支援内容を、より効率的・効果的に広げるための、事業・組織の課題解決や運営改善に関する取組 ※「3.対象となる取組」②～⑥に該当</p>
プロボノのサポート	原則なし (ニーズに応じて協議)	原則あり (タイミングや業務内容は、ニーズを踏まえて採択後協議)
対象となる団体	<p>・法人格を持つ民間非営利団体(特定非営利活動法人、財団法人、社団法人、社会福祉法人等)</p> <p>・主たる事務所が日本国内にある団体</p> <p>・本要項にある各種要件に同意いただける団体</p> <p>※以下の団体は対象外です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社・合同会社等の営利活動を目的とする団体 ● 政治活動、宗教活動を目的とする団体 ● 反社会的勢力と関わりのある団体 <p>※より多くの団体へのご支援を実現するため、過去3年以内に、SMBCグループライジング基金(含む三井住友銀行ボランティア基金)として支援を受けた団体は対象外とします。</p> <p>※特定の資金・リソースの提供者等の意向に極端に左右されることがなく、市民の主体的な意志に基づいて活動が行われている団体を重視します。</p>	
想定する団体の規模・実績	<p>・有給の常勤スタッフ3名以上</p> <p>・法人設立から3年以上</p> <p>・年間の予算規模2,000万円以上2億円以下</p>	

※ (A)1年コースと(B)3年コースは併願可能です。(ただし両コースで同時に採択されることはありません)。
また3年コースの採択団体の該当がない場合、1年コースの採択団体数を追加する等全体の調整を行います。

3. 対象となる取組のテーマ

対象となる取組は、次のテーマから必要なものを選んでご応募ください。

※ 3年コースは、中長期の基盤強化を支援するという趣旨から、①は対象外です。

※ 複数の取組を組合せて実施する形でも構いません。また、実施例に該当しないものでも、趣旨に沿うものは認められます。不明な場合はご相談ください。

テーマ	実施例	1年 コース	3年 コース
①支援対象の直接的な増加	・支援対象者への資金提供やサービス拡大を効率的・効果的に行う取組に寄付金を充当	○	×
②支援活動の質向上	・新たなマニュアル・プログラムの開発 ・プログラムの評価と改善及び現場への実装 ・効果的な支援拡大のためのITシステムへの投資	○	○
③支援活動の普及・拡大	・より効率的・効果的に支援を届けるための新たな拠点の設置 ・他団体や行政とのノウハウ共有や協働の強化	○	○
④事業・組織基盤の強化	・外部の支援を受けての業務フローの整備 ・事業の拡大に伴う人材育成・マネジメント体制の強化 ・現場の生産性向上と必要な機材の導入	○	○
⑤連携構築・政策提言	・他機関との連携・ネットワーク強化 ・政府・行政や市民社会に働きかける調査や情報発信、提言活動	○	○
⑥新規事業の立ち上げ	・既存事業の経験を活かした新たな事業の立ち上げ ※既存の事業・サービスを新たな受益者に提供する場合も含まれます	○	○

<対象にならない取組の例>

- 従来から取り組んできた事業について、全く同じ内容を継続するだけの取組
- 機材の導入や物資の購入が主目的で、事業そのものの改善を伴わない取組
※事業拡大の一環として機材や物資を購入する場合は対象となります。

4. 対象となる経費

応募事業に関連する費用全般が対象です。

※ 応募事業を運営するために必要な一般管理費も計上可能です。

※ 応募事業に関連しない費用は対象外です。

※ 応募事業に関連する費用であれば、費目の制限はありません。事業を実施するために必要な費目をご提案ください。ただし、事業目的に沿った効果的・効率的な予算となっているかどうかは審査対象となります。

5. 寄付先団体に求められる義務・条件

- 寄付金の適正な使用
- 団体の適切なガバナンス・コンプライアンス体制の整備

- 反社会的勢力の排除
- 活動報告会への参加
- 年1～2回程度、SMBCグループ役職員に向けた事業の現状報告等の情報発信を行って頂きます。
- 期間終了後の成果報告書の提出
- 年次振り返り
- (B)3年コースのみ。1年ごとに事業の振り返りを事務局と行います。見直しが必要な場合、双方合意の上で次年度の活動と予算を決定します。
- SMBCグループ役職員の意識啓発等への協力(講演・ボランティア活動受入れ等)

6. 選考方法・スケジュール

- 公募開始: 2024年9月17日(火)
- 公募締切: 2024年11月15日(金)15時
- 一次選考(書類審査)結果通知: 2024年12月下旬
- 二次審査(オンライン面談): 2025年1月中旬
- 二次選考(役職員投票・審査会): 2025年1月下旬～2月下旬
- 結果通知: 2025年3月上旬予定
- 寄付金支払: 2025年3月下旬予定

(B)3年コースは初年度分のみ。次年度以降は年次振り返りの後、1年ごとにお支払いいたします。

- ※ 選考は原則書面及びオンラインで実施します。
- ※ 採択の可否に関わらず、選考結果は応募者全員にお知らせします。
- ※ 選考の経緯・決定理由は、採択の可否に関わらずお問合せには応じかねますので、予めご了承ください。
- ※ 最終的な寄付金額及び使途については、応募時に提出された書類や審査会での指摘を踏まえ、協議の上で決定させて頂く場合がございます。

7. 選考の流れ・応募団体にご準備頂く物

【一次選考(書類審査)】

一次選考では、以下4点の書類をご用意して頂きます。所定の応募フォームから団体の基礎情報や連絡先をご入力頂いた後、応募書類をアップロードしてご提出ください。「8. 選考基準」に基づいたスコアカードにより、審査を行います。

1. 応募用紙(事業計画書)

団体の概要や実績、事業内容、実行体制、予算等について、所定の書式に記入して提出ください。
1年コースと3年コースで応募用紙は異なりますのでご注意ください。

[応募用紙\(1年コース\)](#)
[応募用紙\(3年コース\)](#)

- ※ 選考基準を踏まえ、内容に盛り込んでください。
- ※ 適宜、図表や写真も挿入頂いて結構です。
- ※ 指定のページ数で納めてください。

2. 団体の紹介資料(団体概要・パンフレット・アニュアルレポート等)

団体の概要や活動内容が分かる一般的な紹介資料を PDF ファイルでご提出ください。冊子としてまとめた物のご用意がない場合は、HP やチラシ等のまとめでも結構です。

3. 団体の過去 2 事業年度の財務報告書

PDF で提出してください。

4. 団体の今事業年度の収支予算書

PDF で提出してください。

- ※ 所定の書類以外は、ご提出いただいても審査の対象外となります。
- ※ 応募内容に不備がある、必要な情報を期日までにご提出いただけない等の場合は応募を無効とする場合がございます。
- ※ ご送付いただいた資料は返却できません。予めご了承ください。

【二次選考(会議体による審査会等)】

二次選考では審査会でのプレゼンテーションと質疑応答、及び役職員による投票を行います。詳細については一次選考通過後にご連絡いたします。

8. 選考基準

以下の基準に基づいて選考を行います。応募用紙作成の参考にしてください。

1.課題分析の適切性	団体の対象とする顧客が抱える貧困・経済的格差の課題やニーズについて、各種調査や団体の活動実績を反映させ、できる限り定量的かつ構造的に捉えた上での記載となっているか。
2.期待されるインパクトの大きさ	本寄付金を活用して取り組む活動のアウトプット、そのアウトカム、そして、どの程度のインパクトが得られるのか。また、そのインパクトが本寄付の要件や趣旨に合致しているか。
3.活動内容の有効性	本寄付金を活用して取り組む活動の内容が、設定した課題の解決や成果目標の達成に対して有効な内容か。また、より効率的・効果的に支援対象や支援内容を広げるための工夫がなされているか。

4.計画の妥当性と効率性	活動計画が具体的で、妥当かつ効率的なものになっているか。特に、寄付金を含む予算の活用方法について、より効率的・効果的に支援対象や支援内容を広げるための工夫がなされているか。
5.実行体制の有効性	計画の実行チーム(リーダーとメンバー)が、活動計画を実行するために必要かつ有効な組織力や外部ネットワークを有しているか。また、目標を達成するためのリーダーシップを期待できるか。
6.団体の実績と信頼性	本寄付に応募する活動も含め、これまでに本寄付の要件や趣旨に合致した活動の実績があるか。また、団体の経営状況が安定しているか。

9. 応募受付期間・応募手続き

【応募受付期間】

応募受付期間は以下の通りです。

2024年9月17日(火)～2024年11月15日(金)15:00まで

【応募手続き】

応募手続きには Google フォームを利用します。所定の応募フォームから団体の基礎情報や連絡先をご入力頂いた後、応募書類 4 点をアップロードしてご提出ください。

※応募は 1 団体につき 1 件までとなります。複数の応募はできません。

※(A)1年コースと(B)3年コースは併願可能です。(ただし両コースで同時に採択されることはありません)。

また 3 年コースの採択団体の該当がない場合、1 年コースの採択団体を追加する等全体の調整を行います。

STEP1. Google アカウントの取得

応募には Google アカウントが必要です。既に取得済み、使用中のアカウントをお持ちの団体は、新規アカウント取得は必要ありません。

STEP2. 応募の準備

Google フォームを使用した応募手続きでは、フォーム入力中に一時保存ができません。入力前に応募下書き用ファイルを使って基礎情報や連絡先をご準備されることを推奨いたします。

[応募フォーム下書きファイル\(Excel\)をダウンロード](#)

- アップロードする応募書類は次の 4 点です。詳細は「7. 選考の流れ・応募団体にご準備頂く物」の「一次選考(書類審査)」をご確認ください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・応募用紙(1年コースまたは3年コース) ・団体の紹介資料(団体概要・パンフレット・アニュアルレポート等) ・団体の過去2事業年度の財務報告書 ・団体の今事業年度の収支予算書 |
|--|

- ご提出いただく書類のファイル名は、それぞれ「団体名_書類名」としてください。
例)一般社団法人 JPP_応募用紙.pdf
一般社団法人 JPP_収支報告書(20XX 年度).pdf

STEP3. 応募

こちらのフォームから応募ください。応募書類 4 点の提出もフォームから行います。
応募後の訂正操作及び内容変更はできません。

[応募フォーム\(1年コース\)](#)

[応募フォーム\(3年コース\)](#)

10. 寄付期間開始後について

- 事業計画と予算計画は、事務局との合意の上でいつでも見直しが可能です。必ず事前にご相談ください。
※ 自然災害の発生や事業前提の変化等緊急性の高い場合は、事務局から修正をご提案する場合がございます。
- (B)3年コースの採択団体は、1年ごとに事業の振り返りを事務局と行います。見直しが必要な場合、双方合意の上で次年度の活動と予算を決定します。
- (B)3年コースの採択団体と、プロボノ等の連携実施に向けた打合せを実施します。詳細は採択後にご連絡します。

11. お問い合わせ先

SMBC グループライジング基金事務局

smbcrisingapply2024@jphilpartner.org

(運営協力:一般社団法人ジャパン・フィランソロピック・パートナー)

※お問い合わせへの対応は、一般社団法人ジャパン・フィランソロピック・パートナーが行います。お問い合わせの際は、団体名、担当者名、担当者の電話番号を必ず記載ください。ご回答には数日いただく場合があるため、時間に余裕をもってお問い合わせください。

12. 個人情報の取扱いについて

(株)三井住友フィナンシャルグループが定めるプライバシーポリシーに準拠した対応を行います。

<https://www.smfgr.co.jp/privacy/>

以上